



同友会便り

第251号

平成30年2月1日
〒010-0444 秋田県南秋田郡
大潟村南1-33
株式会社 大潟村同友会
編集責任者 鈴木貫示

お寒ごうごうございます

みなさまこんにちは。タイトルの通りお寒ごうございますね。

年が明けてからの当地の気候はと申しますと、これが比較のおだやかな天気だったんです。12月の荒れ模様な天気と比べまして雪も降らないし、風も吹かない。こんなに

おだやかな冬で、春はいつたいどうなるんだろう、と逆に心配なくらいだったんですが、まあそのまゝまで過ぎるわけもありません。

やっぱりやってきましてね、最強寒波。もちろん日本全国、こ



こ近年には無いくらい低い低温と降雪で、交通機関なども大混乱だったので、皆さまもまだご記憶に新しいことかと存じます。

当地大潟村では、もちろん雪は降りますが、海が近い平野部なので、雪の量はさほどではありません。その代わり風が強いですね。雪は積まると言うより、吹き溜まると言った方が正確な気がします。

同じ秋田県でも、横手とかの内陸地域では常に豪雪で、平野部でもあまり降らない今年のような年は、山雪(やまゆき)の年だ、などと言います。逆に平野部にたくさん降雪のある年は、里雪(さとゆき)の年と解釈します。今年はどうやら山雪の年のようです。

さて雪は少ないんですが、最強寒波というくらいで、真冬日が一週間ほども続いたのは少々閉口致しました。真冬日というのは一日の最高気温が0以下の日ですね。私みたいな年齢になつてく



吹雪の後、外壁や窓にびっしりと雪が付きます。こんな光景もまたこの季節ならではの。

ると、けっこうこたえますね。え？私の歳ですか？あらかんとだけ言っておきましょうか(笑)。

上の写真は、我が家の縁側の窓ガラスに咲いた、霜の花です。冷え込んだ朝にはよく見られます。陽が照って気温が上がってくればいつの間にか融けて無くなってしまふのですが、この日は終日融けずに窓ガラスを飾っております。

ま、気温が下がったといつてもこの日はせいぜい氷点下8くらい。北海道にお住まいの方々は笑われてしまいますね。寒い寒いとぶつぶつ言

いながらも、それでもきちんと寒い日があつて、雪も降ってくれるのは安心できます。なまじ暖冬だと、今年の夏はまた涼しいのか？と心配にもなるわけです。冬はやはりきちんと寒くて雪が降ってくれなくては困ります。

でも最近の天気は、予想がつかなくて悩ましいものだったりしますね。昨年も冷夏と秋の長雨で苦労致しましたので、今年が良い天気であることを願ってやみません。

(鈴木貫示)



お客様の便りから

今年もまた、皆さまからたくさんのお便りをいただき、嬉しい悲鳴を上げております。

最初に紹介するお便りは、青森県むつ市の柳谷様のお便りです。

ニュースで知る秋田方面のお天気具合、気になっております。今年もめぐまれたお天気で良いお米が出来ますことを願っております。

このこと、今年は何んだかお天気を心配して下さるお便りが多かったように思います。そういえばこの便りでもお天気の話ばかりになっていたかもしれません。天候不順な年はどうしても話題がそこへ行きがちです。続いてのお便りは東京都板橋区の工藤様から。



暑くても、大雨・日照不足でも、きれいなおいしいお米をありがとうございます。

天候が多少悪くても、大潟村の大地は良いお米をちゃんと育ててくれますね。喜んでいただけて何よりです。

横浜市泉区の青木様からはうれしいお褒めの言葉をいただいております。

いつも美味しいお米をありがとうございます。そして同友会便りをとても楽しみにしております。

記事を忙しいあい間に書くというのは大変だと思いますが、大ファンのお読者の為にも頑張ってください。

このこと、うわあ、ありがとうございます。感激です。これからも農家と大潟村のこ



とを色々お伝えしたいと思えますので、よろしく願います。

さて手描きのイラストにて賀状をお寄せくださったお二方を紹介しましょう。

左上の年賀状は、群馬県安中市の小根澤様から。おかげひよつこのバックはきれいな金色に彩色されております。

その下は、大阪市城東区の篠田様から。宛名面にもお便りがあります。

よいお米でござんありがとうございます。同友会便り一家に車四台はびっくりです。

と、昨年11月の同友会便り、三留達也クンの記事に対する感想をいただきました。大潟村というところは、バスの便も悪くて陸の孤島と言ってもいいくらい、歩いてはどこへも行けないところなんです。

休業日のお知らせ

2018年2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

2018年3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

今月・来月の休業日は右の色つき部分となります。休業日の注文は留守番電話・FAX・インターネットにて受け付けております。尚、休業日中に注文頂いたお荷物は、翌営業日に弊社からの発送となります。



だからどこのお宅もマイカーは必須。そのほかに、作業車として軽トラやダンブカーなどを用意しているのが普通なんです。車社会を前提として作られた農村なんです。さて最後に紹介いたしますのは、横浜市港南区の長島様からのお便りです。

四年間の戦争時代を経験した私共には、座しておいしいものをいただける世の中に感謝です。

平和が続く世を願いながら、本年もよろしくお願い申し上げます。

本場にその通りですね。戦争を経験なさった長島様のお言葉はたいへん重く、我々世代にはわからないご苦労をさされてきているのだと思います。秋田県にも地上イービス施設

が造られようとしており、我々にはそれすら必要なかの不要なのか判断できずしております。本年が昨年と同じく、何ごともなく平穏な一年だといいですね。長島様、お便りどうもありがとうございます。暗いことばかり考えていてもしようがありません。皆さまもどうぞお身体ご自愛ください。春はもつすぐですよ。

(編)